

市庁舎整備に関する 取り組み経過について

鳥取市議会

鳥取市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会 設置の経緯

平成24年5月20日・・・ 「鳥取市庁舎整備に関する住民投票」実施



「現本庁舎の耐震改修及び一部増築」案が約60%の得票で選択される。

平成24年5月31日・・・ 平成24年第3回鳥取市議会臨時会

現本庁舎耐震改修等に関する調査研究を目的とした委員会設置案を議員提出議案として提出



全会一致で、
「鳥取市庁舎耐震改修等に関する調査特別委員会」設置

現在の本庁舎敷地図

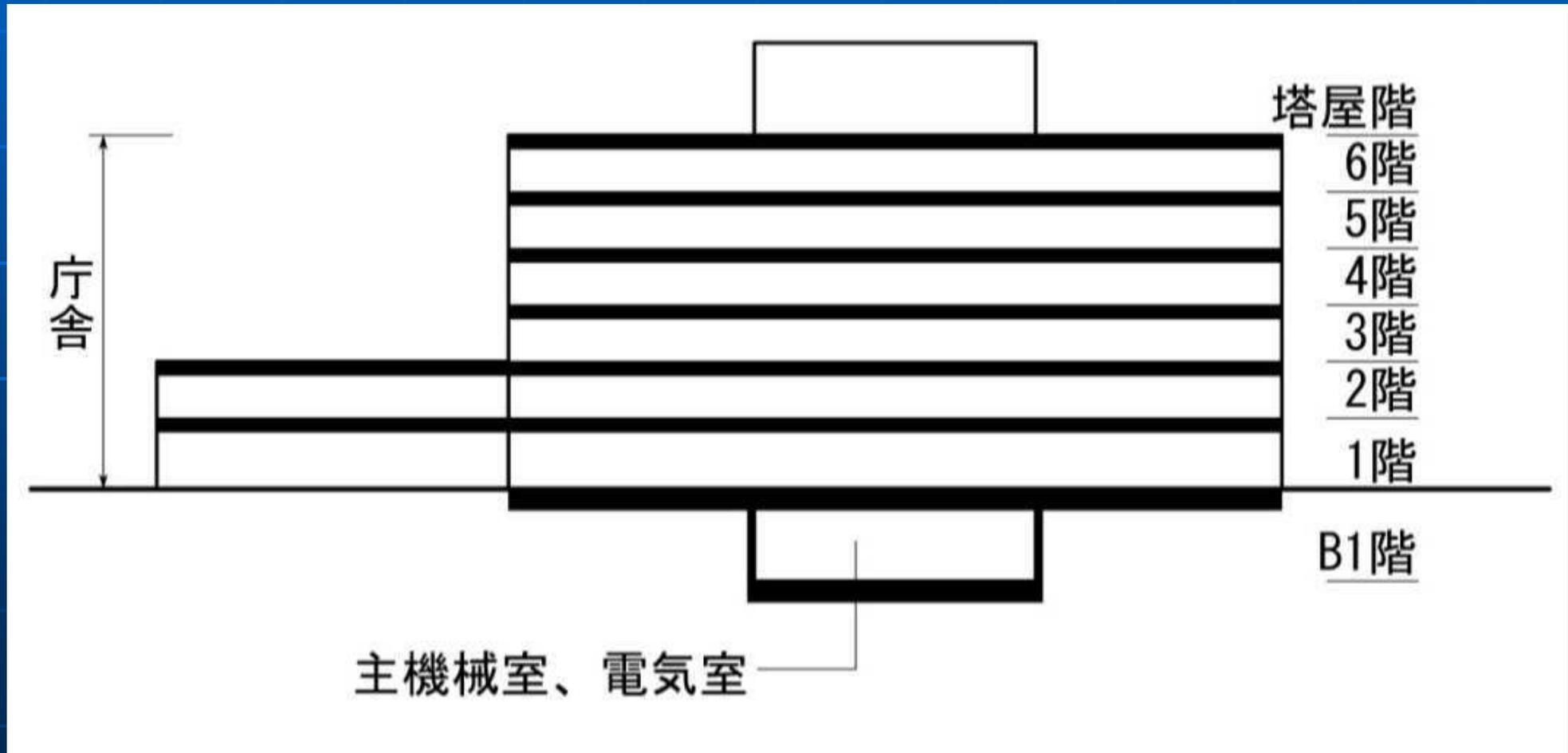


現在の本庁舎断面模式図

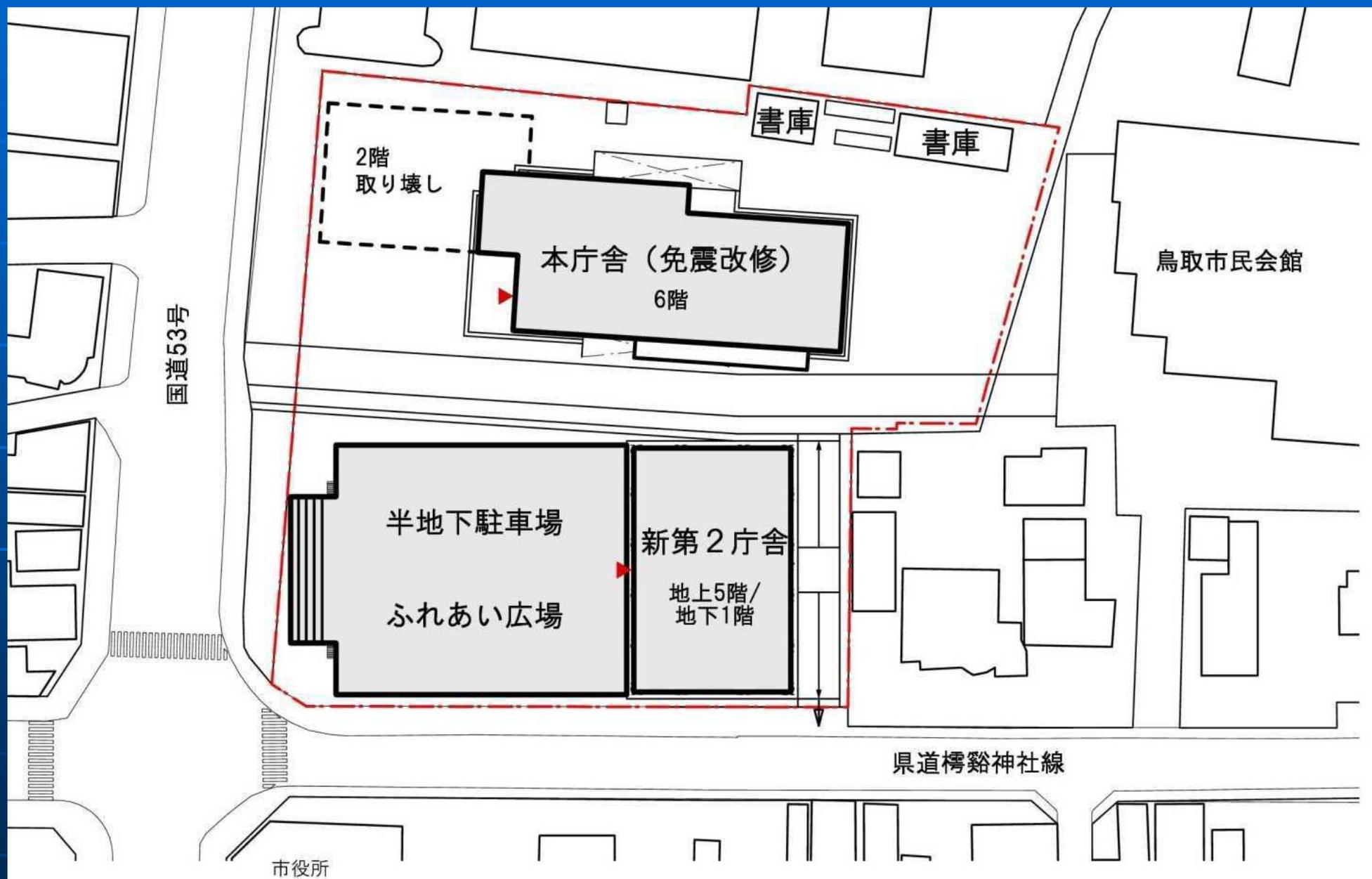
建設年：昭和39年(1964年)

構造：鉄筋コンクリート造、地上6階一部地下1階

延床面積：約6,800 m²(うち地下1階約380 m²)



第2号案で示された庁舎配置図



特別委員会の状況について

- 24. 5. 31 特別委員会設置
- 24. 6. 14 参考人として山本浩三氏を招致（1回目）
- 24. 7. 9 参考人として山本浩三氏を招致（2回目）
- 24. 8. 29 耐震改修の検証委託業者を選定
- 24. 9. 7 検証作業を平成24年9月定例会で議決し委託
- 24. 10. 5 日本設計より2号案のままでは実現困難との回答
- 24. 10. 12 2号案の条件を一部変更し、調査業務を行うことを確認
- 24. 11. 9 日本設計より、調査業務報告書の提出
- 24. 12. 18 委員会報告の最終確認
- 24. 12. 20 平成24年12月定例会で委員会報告

第4回特別委員会にて本庁舎地下機械室を視察



専門的知見の活用

2号案の立案者・山本浩三氏を2度参考人招致、
及び文書などで積算根拠などを質疑



第三者となる専門家を交えた、耐震改修案の更
なる具体的な検証が必要と判断



調査業務を専門家(株式会社日本設計)に依頼

第2号案のままでは実現できない

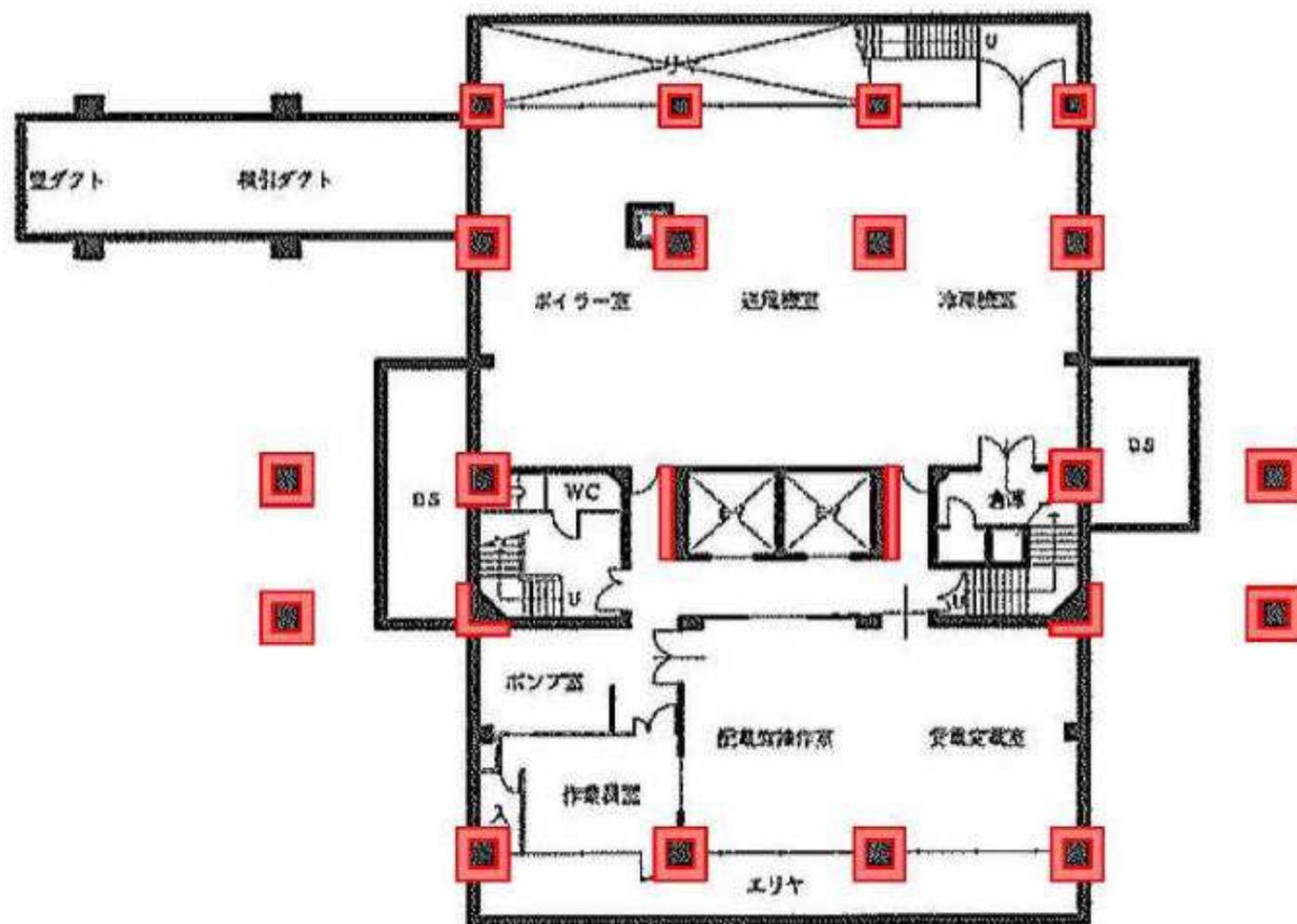
専門家が検証を行う中で、2号案のままでは実現できないということが明らかになった

実現できないとされた理由は次のとおり

理由 ①

地下1階の柱頭免震工事には、設備
機器を移動させて 柱を補強しながら
実施する必要がある。

工事の際には、機械類を一度撤去する必要がある



■:柱補強部分

□地下1階 柱補強範囲図

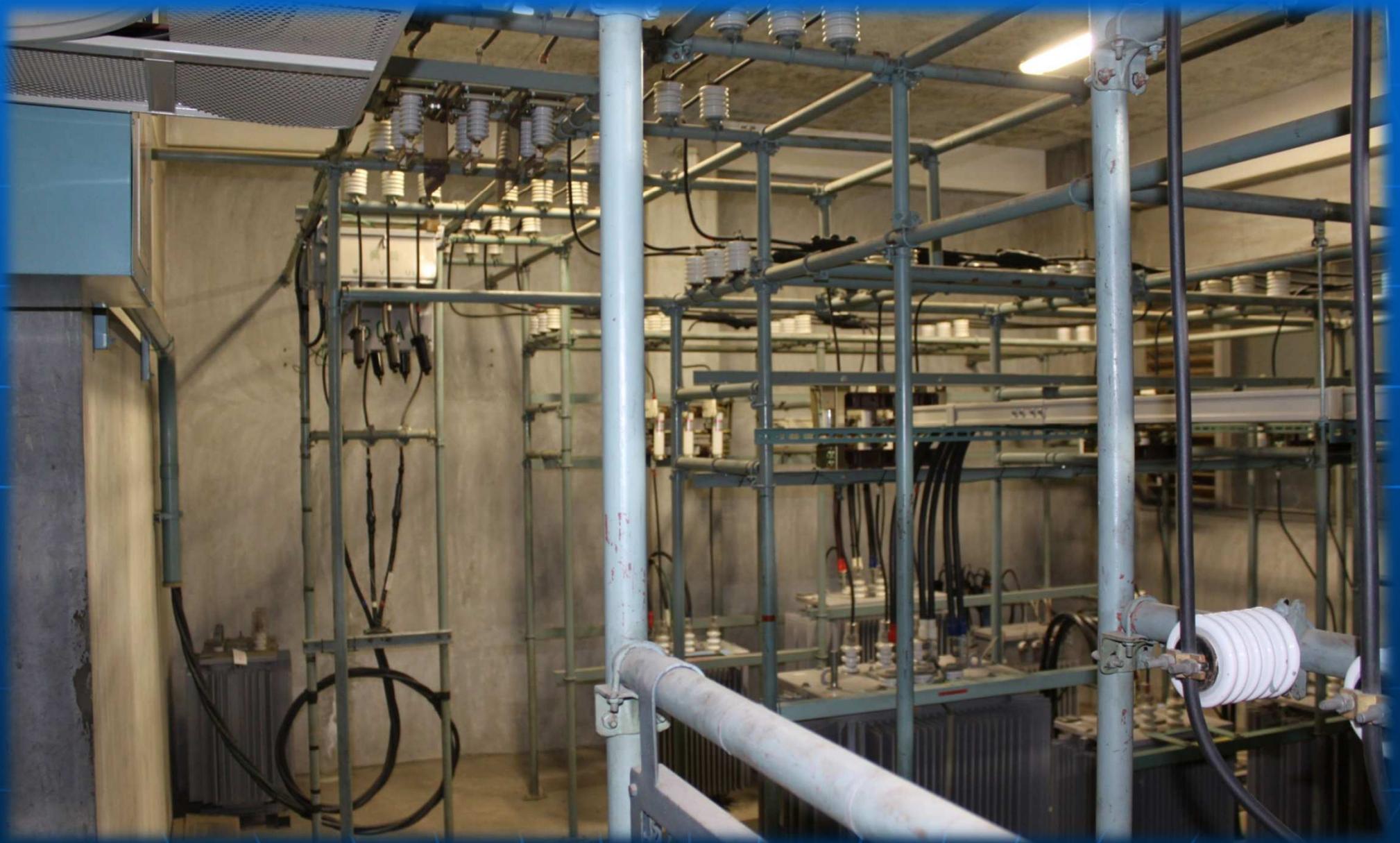
暖房用空調設備の様子



冷房用空調設備の様子



受変電設備の様子



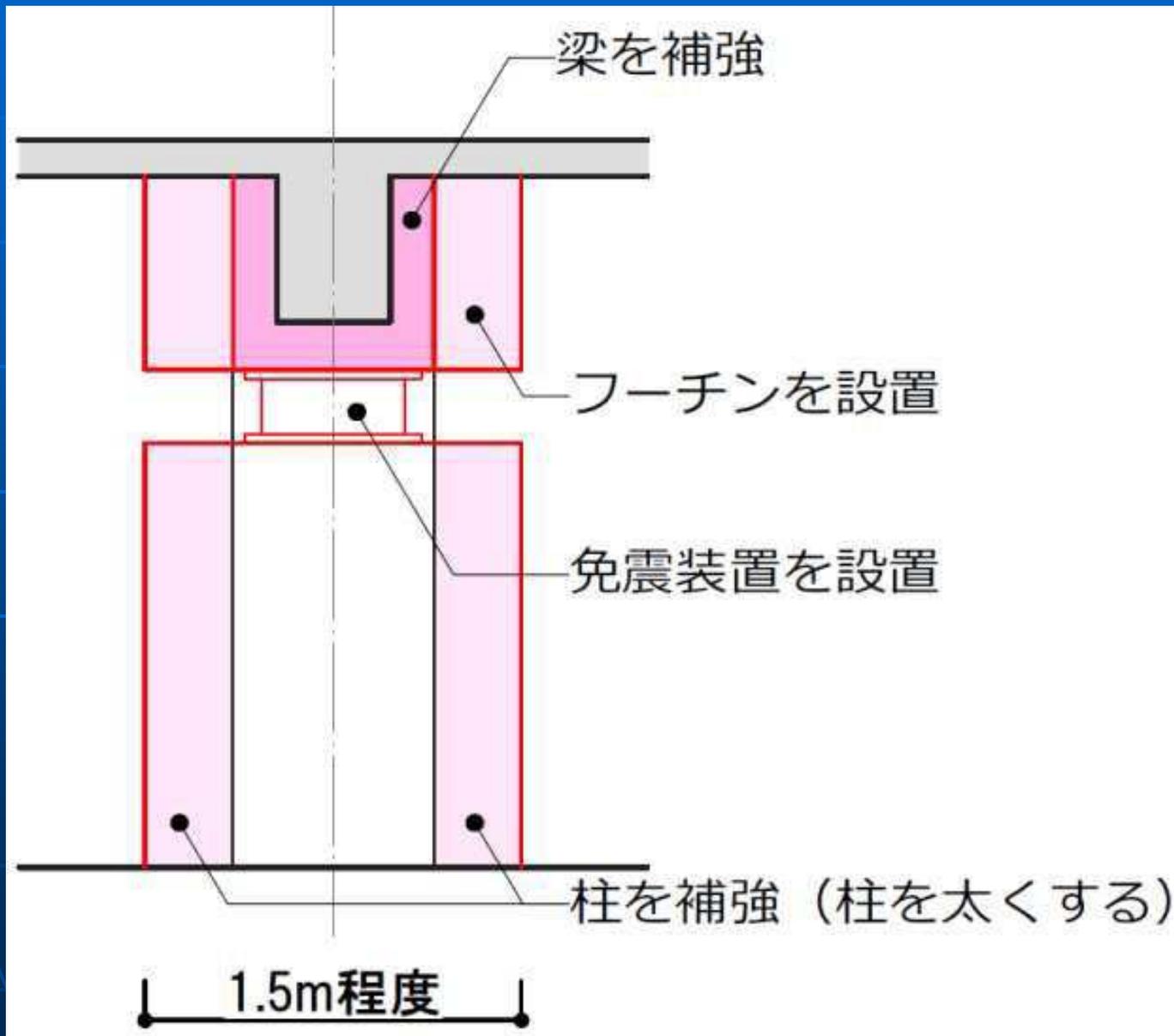
電気設備の様子



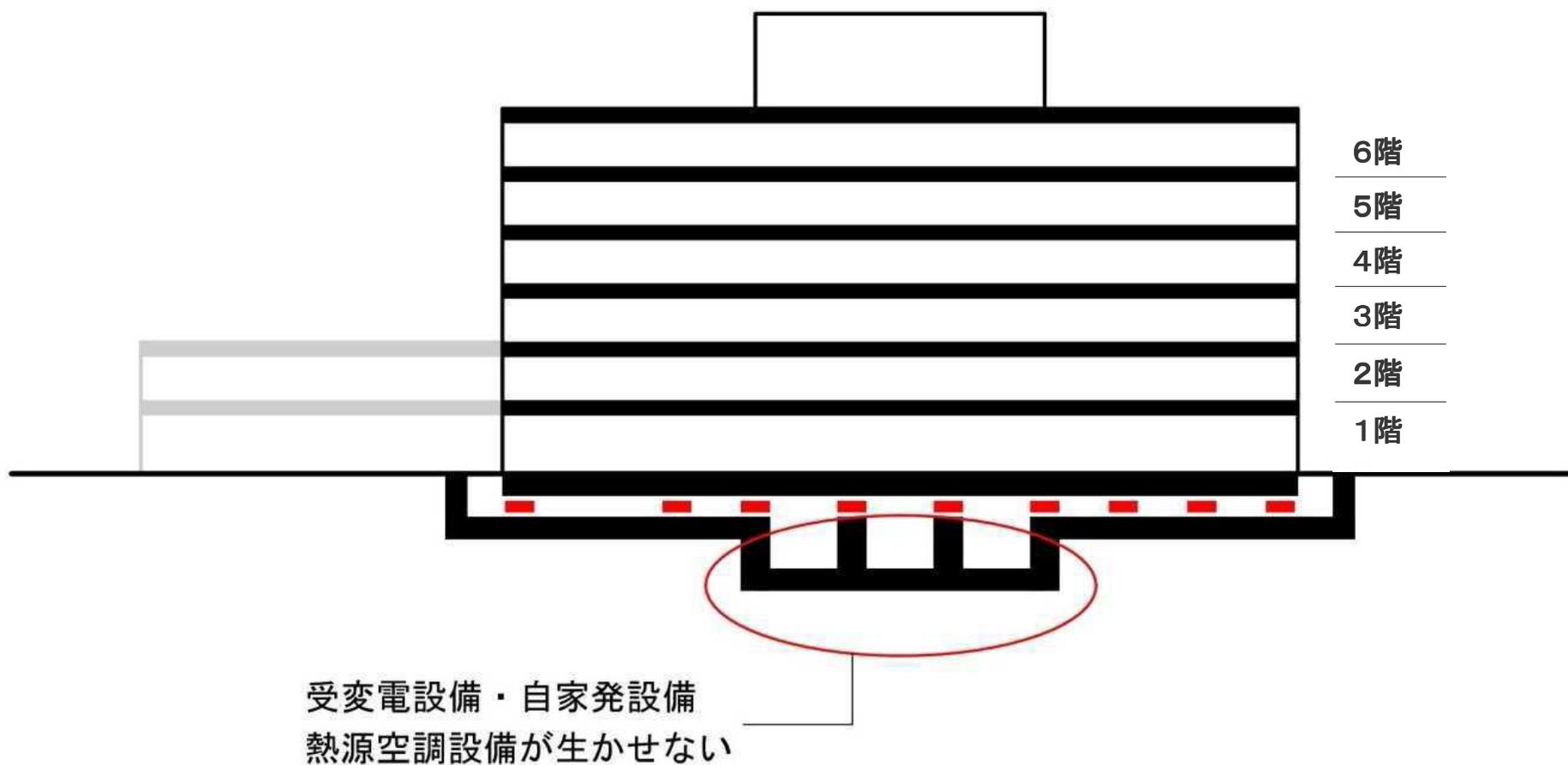
地下室における柱の様子



梁及び柱を補強する工事が必要



地下にある空調設備のダクトを施工するスペースが足りない。



理由 ②

地上部分の壁や天井などの工事が必要となり、
居ながら工事ができない。

～建設後、法令等の改正により建築基準不適合となっている建物を、増築などを行う際、現行法に適合させる必要があるため内装工事が必要になってくる～

理由③

駐車台数150台を確保できない



条件の一部を変更

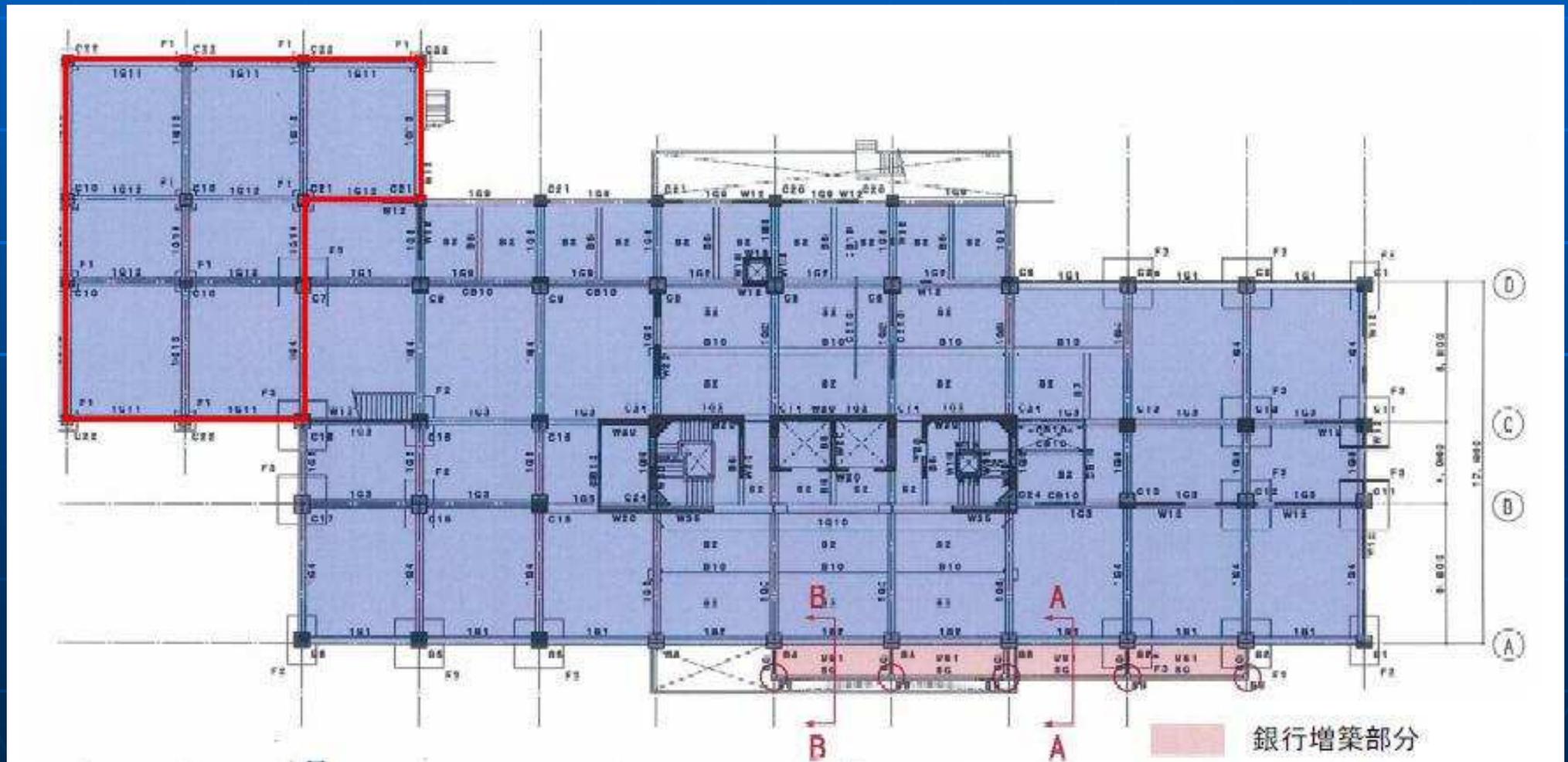
実現不可能とされた部分について、なるべく原案に近い形で耐震改修などを実施することを想定し、新たな条件で費用を算出することにしました。

その変更点は次のとおりです。

変更点 ①

本庁舎改修

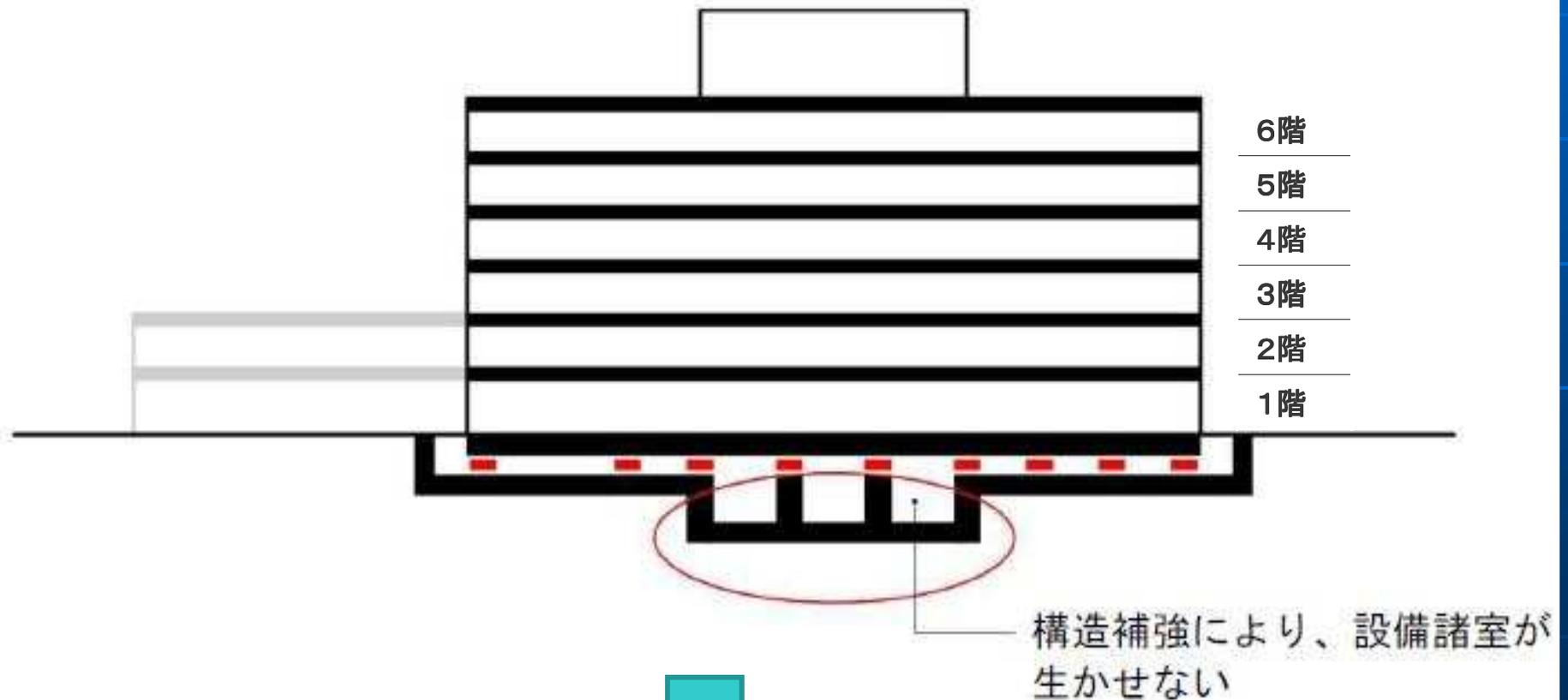
延床面積約: $5,900\text{m}^2$ → $5,850\text{m}^2$



2号案で示されていた、1階部分基礎免震・地下1階部分柱頭免震の模式図

本庁舎改修

□調査案 断面模式図(地下1階柱頭免震)



変更点 ②

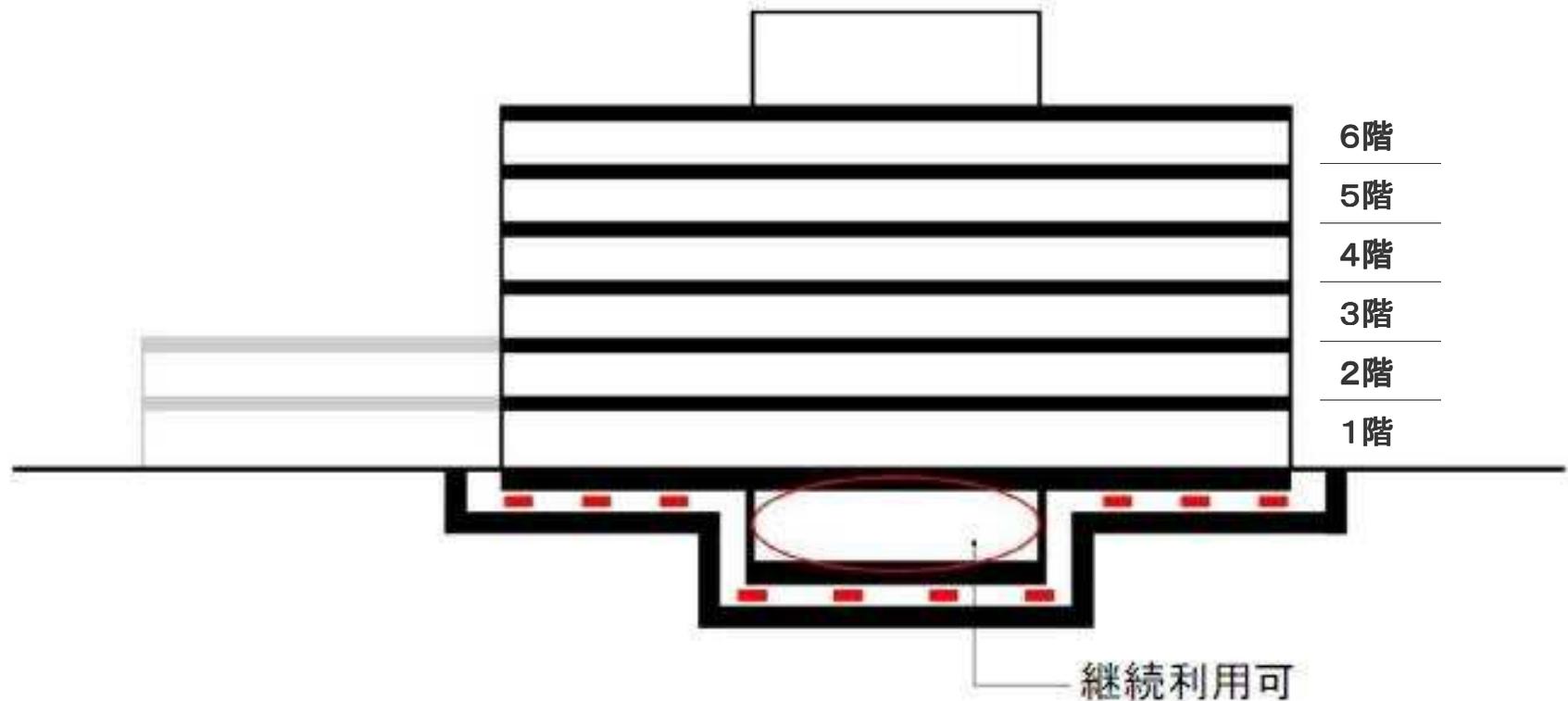
本庁舎改修

1階基礎免震
地下1階部分柱頭免震



全体基礎免震

□変更案 断面模式図(全体基礎免震)

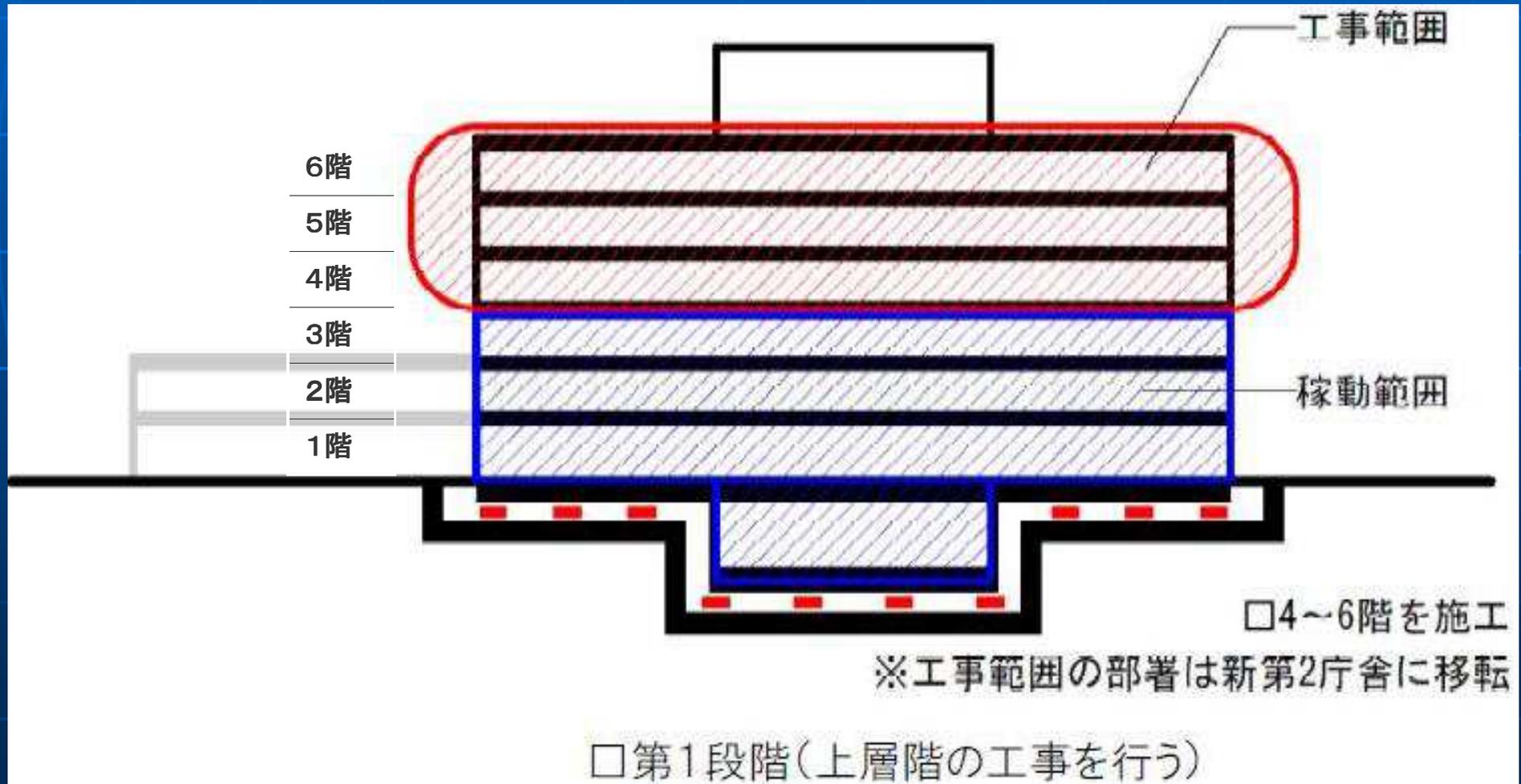


変更点 ③-1

居ながら工事が
出来ない



一部移転させ工事

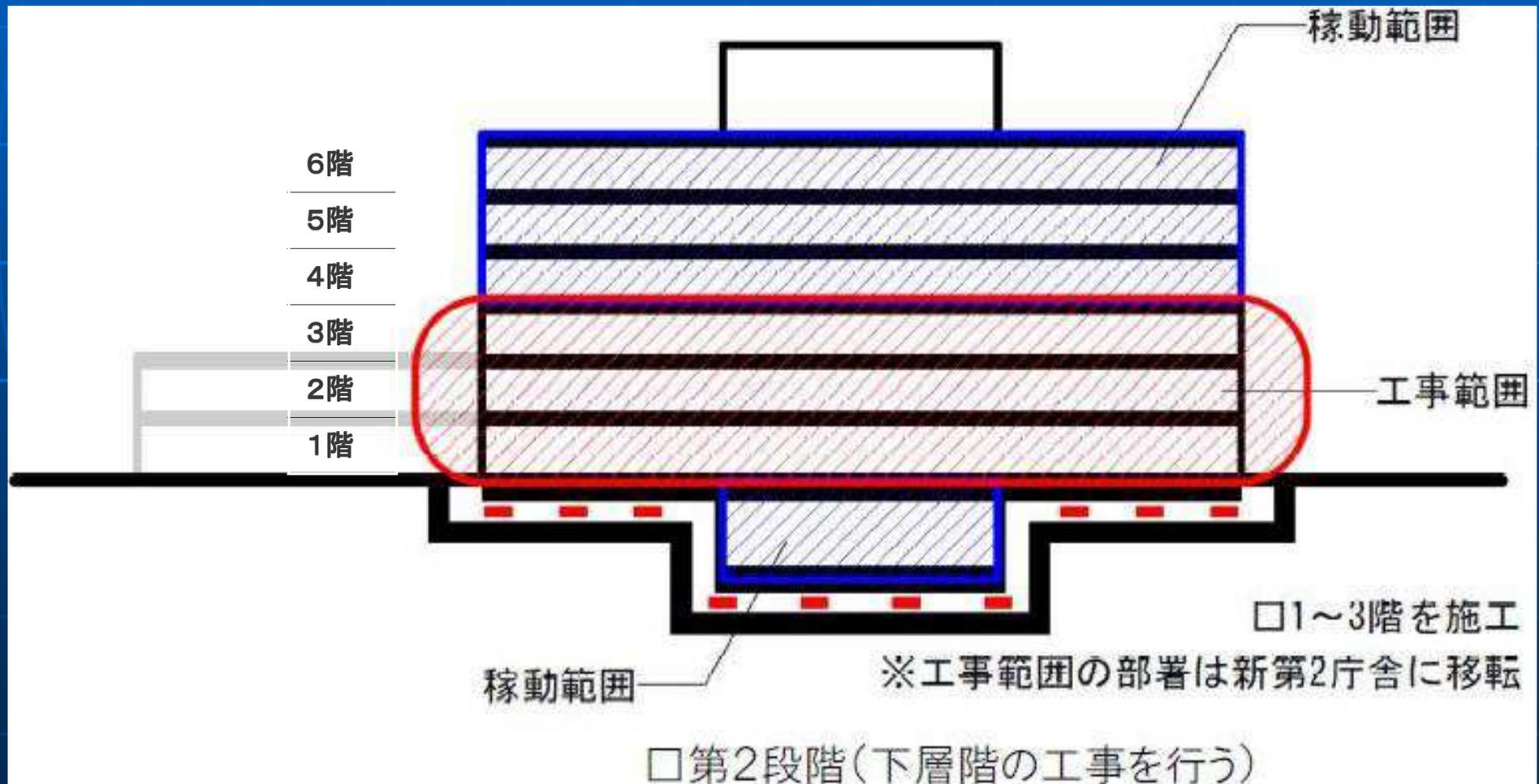


変更点 ③-2

居ながら工事が
出来ない



一部移転させ工事



変更点④

新第2庁舎

延べ床面積約4,380m²



延べ床面積約4,430m²

変更点 ⑤

半地下駐車場

駐車台数**100台**の半地下駐車場
半地下駐車場以外の駐車台数**50台**
屋外駐車場とあわせて**150台**の駐車施設



駐車台数**74台**の半地下駐車場
半地下駐車場以外の駐車台数**43台**
屋外駐車場とあわせて**117台**の駐車施設

変更後の平面図



検証結果について

①概算工事費

| | | |
|----------|---------------------------------|--------|
| 既存本庁舎改修費 | 免震改修・解体工事・外壁改修 内装改修工事・設備改修解体 | 11.8億円 |
| 新第2庁舎 | 地上5階、地下1階、免震構造 渡り廊下含む | 15.7億円 |
| 半地下駐車場 | 鉄骨造・半地下・屋上広場 | 3.3億円 |
| 外構 | 屋外駐車場・舗装・植栽 | 0.2億円 |

A 概算工事費（合計） **31.0億円**

設計費 1.7億円

監理費 0.5億円

B 設計・監理費（合計） **2.2億円**

建設費概算（A・B計） **33.2億円**

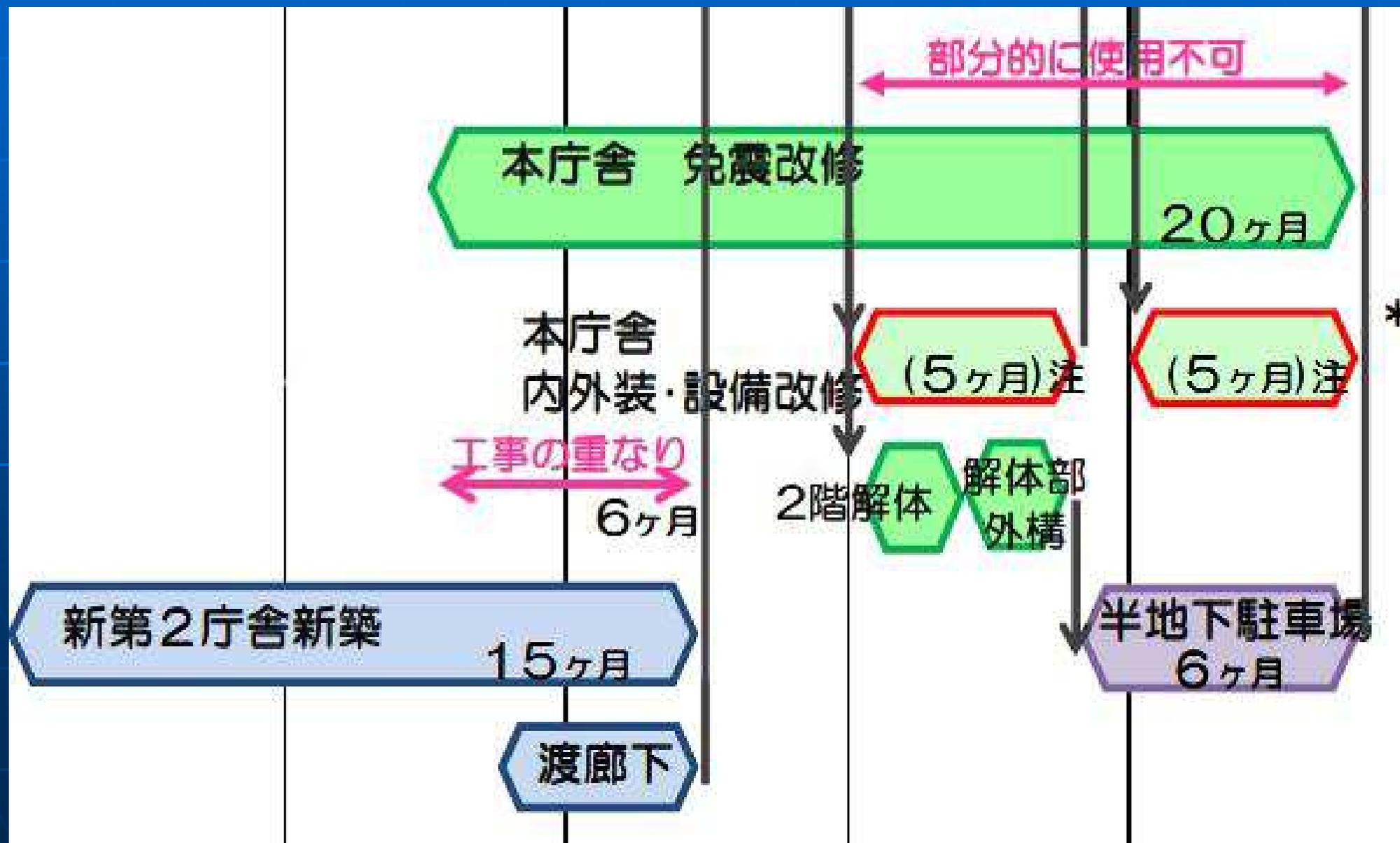
②その他の経費

| | |
|------------------------------------|---------------|
| 埋蔵文化財調査費（4,884m ² ） | 1.3億円 |
| 土壌汚染対策費（ヒ素）（19,000m ³ ） | 5.9億円 |
| 大規模修繕費 | 2.2億円 |
| 下水道管移設費 | 0.7億円 |
| ボーリング調査、敷地測量、免震手数料など | 0.1億円 |
| <hr/> | |
| その他経費（合計） | <u>10.2億円</u> |

※その他経費については、鳥取市より提示

③工事工程について

整備工程表



特別委員会報告から①

今後の課題として…

- ・新第2庁舎の建物ボリュームにかかる事項
- ・建物性能にかかる事項
- ・基本計画時に調査すべき事項

特別委員会報告から②

今後の課題として…

- ・新築の可能性があるとする参考意見も示されましたが、これについての意見はまとまらなかった。

特別委員会報告から③

市庁舎整備は喫緊の課題であり、住民投票の結果を尊重し、今後も市民の声を取り入れて調査研究を続ける必要がある。



平成25年第1回臨時会(1月16日)において、

『市庁舎整備に関する調査特別委員会』を設置